

女性フラガ 男女共同参画支援室だより

Vol. 8

2010.10.1発行

今年度、開催したセミナーについてご紹介します。

●第1回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

平成22年6月23日(水)

「届かなければ伝わらない」

～コーチングを学んで良好な関係を築く！～

あらゆる場面で活用できる実践的なコミュニケーションスキル。コーチングについて、コーチング・ステージ代表の功力勲さんをお迎えしてお話を伺いました。参加者同士の自己紹介（自己紹介ジャンボリー）から始まり、コーチングとは何か、歴史、実践例、実技（コーチングエクササイズ）を学びました。コーチングエクササイズでは、聞き手（コーチ）と話し手（クライアント）の役割を決め、制限時間の中で、自分の考えを押しつけず、対話によって相手のモチベーションを高め、自発的な行動を促すという体験をしました。初めてコーチングを学ぶ方がほとんどでしたが、会場内に笑いが絶えない盛り上がったセミナーとなりました。



参加者からの感想・アンケート結果

☆自己紹介ジャンボリーがとても楽しかったです。笑顔の素敵な方がいました。見習いたい。

★受講したことをこれからどのように活かされますか？

→今の生活(2人)、夫婦の会話(2人)、家族との会話(4人)、就職の面接(2人)、生き方すべて、など。

●第2回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

平成22年9月29日(水)

「ひきだす・まとめる・ひびきあう」

～上手な話し合いの進め方～

NPOファシリテーション協会会長の徳田太郎さんをお迎えし、「ファシリテーション」の語源や定義、基本的な考え方などについて学びました。グループワークを中心に、受講者は会議を行う上での不満や悩みを問いかけの文章で表現し、上手な会議の進め方を自ら考えながら、講師と共に答えを考えていくという形式でした。会議の進め方の最強のコツは、ペンとオールの二つであるとのこと。ペンとは、書くことで議論を目に見える状態にし、話し合いを明確化し共有する効果があります。オールとは、OARR（Outcome=成果イメージ、Agenda=手順、Role=役割分担、Rule=行動規範）であり、このオールを持ち、ペンで書くことにより、会議を上手に進めることができます。

ファシリテーションはあまり聞き慣れない言葉でしたが、講習は異なる意見や考えを上手にまとめていく合意形成力を身につけるための実技を中心としたもので、理解しやすい内容でした。職場、自治会やPTA、サークル活動など、身近な場面で「話し合い」を上手に展開し、意義ある活動に結びつけていただければ光栄です。



参加者からの感想

☆自分の意見を押し通してしまう会議が多く、なかなか皆が実行できずにいます。これからは、意見を引き出す力を見つけていきたいです。

★会議での共通理解を深める手段がとても参考になりました。

本県初の女性副知事が誕生

～就任メッセージ～

私は、昭和48年に教員として採用されて以来、男女共同参画、保健福祉行政などに従事してまいりました。人口減少の時代にあつて、県が進める「生活大県」を実現するためには、子育て支援や地域医療の再生など、多くの課題があると認識しております。それらの課題に対しては、さまざまな視点を持って取り組むことが必要であると考えております。

たとえば、医療や福祉の分野では、最前線で働く看護師や介護職員などの大多数は女性であり、一方でその政策決定を担うスタッフの多くは男性であるのが現実です。このような状況において、現場の生の声や状況を広く汲み取り、政策に反映させることが重要だと考えております。

私自身、仕事に当たっては特に性別を意識したことはありませんでしたが、結果として女性としての視点や母親としての感性が、何らかの形で仕事にも反映されてきたのではと考えております。今後も、男女がそれぞれの能力を十分に発揮できる環境づくりを進めながら、全国に誇れる魅力あふれる茨城づくりのために、何事にも積極的に、そして果敢に取り組んでまいりたいと存じます。



茨城県副知事 山口やちろ

銚田市出身。茨城大学教育学部卒。県立銚田二高勤務の後、県女性青少年課課長補佐、高齢福祉課長、知事公室長、保健福祉部長などを歴任。平成22年6月17日から副知事就任。



茨城県男女共同参画基本計画・あゆみ



次期「茨城県男女共同参画基本計画」の策定を進めております。

茨城県では、平成14年3月に「茨城県男女共同参画基本計画」を策定し、男女共同参画を推進するための施策を総合的かつ計画的に展開していますが、現行の計画は平成22年度をもって終了するため、現在、平成23年度からの新たな計画の策定作業を進めております。

中間取りまとめでは、本格的な人口減少、急速な高齢化、個人の価値観やライフスタイルの多様化などの社会情勢の変化を踏まえるとともに、政策・方針決定過程における女性の参画が進んでいないことなどの各分野における課題に対応するため、県民の意識改革、女性の社会への参画促進、男女の働き方の見直し等、男女共同参画社会の実現に向けた一層の取組を行う内容となっております。

男女共同参画に係わる主な歩み

昭和53年 婦人問題を担当する組織として、生活福祉部に青少年婦人課を設置

平成3年 「いばらきローズプラン21」を策定

平成7年 「いばらきハーモニープラン」を策定

平成11年 「男女共同参画社会基本法」制定

平成13年 「茨城県男女共同参画推進条例」制定

平成14年 「茨城県男女共同参画基本計画」・「茨城県男女共同参画実施計画」を策定



男女共同参画チャレンジ支援セミナー 開催予定

第3回

男女共同参画チャレンジ支援セミナー

賢く生きる！保険とお金の上手な付き合い方

～自分の保険を自分で見直す～

日時 平成22年11月17日（水）
午後1：30～3：30

講師 郡司 敦子氏
(有) アーツプランディア代表取締役
ファイナンシャルプランナー

場所 女性プラザ男女共同参画支援室

受講料 無料

募集人数 30名（先着順）

第5回

男女共同参画チャレンジ支援セミナー

夢をかたちに

～資格を活かして自己実現～（予定）

日時 平成22年2月で調整中

講師 キャリアカウンセラー 川村 貴子氏

場所 女性プラザ男女共同参画支援室

詳細が決まり次第、チラシ等でご案内いたします。

第4回

男女共同参画チャレンジ支援セミナー

女性のための創業支援セミナー

県南会場（常総市：ポリテクセンター茨城）

《1日目》平成22年12月4日（土） 10：30～16：30

《2日目》平成22年12月11日（土） 10：00～16：30

水戸会場（水戸市：女性プラザ男女共同参画支援室）

《1日目》平成23年1月29日（土） 10：30～16：30

《2日目》平成23年2月5日（土） 10：00～16：30

《1日目》内容	講師	《2日目》内容	講師
創業体験談	ERIXIR 色彩研究所 色彩心理カウンセラー 白土 祈歩氏	創業の動向と心構え 創業に必要な諸手続	特定社会保険労務士 ・行政書士 川田 志津子氏
成功事例・失敗事例 から学ぶ創業のポ イント	(資)ハンブティ代表 中小企業診断士 宮田 貞夫氏	創業・起業に必要な 会計知識	税理士・ファイナンシ ャルプランナー 樋田 雅美氏
創業チャレンジ相談 会 ※希望者のみ		創業計画の立て方と 創業に係る融資制度	(株)日本政策金融公庫 水戸支店及び土浦支店 融資課長

支援室の相談業務のご案内

チャレンジ相談

… 起業、キャリアアップ、地域活動など様々なことにチャレンジしていこうとしている方を応援します。

法律相談

… 第2金曜日 13:00～16:00
弁護士による面接相談（要予約）

仕事と心の相談

… 第1金曜日 9:00～17:00
産業カウンセラーによる面接相談（要予約）

総合相談

… 家族、夫婦、学校、職場、地域等での悩み事などや男女共同参画に関する苦情や意見など、お気軽にご相談ください。

※電話相談 029(233)7837

おしゃべりサロン

毎月第1金曜日
10:00～12:00
金曜の昼前のひとときを、くつろぎながら集まった者同士、互いに思いを語りあいませんか？

交流室のご紹介

女性プラザ男女共同参画支援室に、交流室があることをご存じですか？ここは、誰でも自由に使えるフリースペースです。（営業や宗教活動など、活動の目的によってはお貸しできないこともあります。）

現在は、花やキルトの愛好家の女性グループ、「お花の会」と「キルトサークル・木葉会」が毎月1回集まって、趣味やおしゃべりを楽しんでいます。また、ボランティアグループの打合せ場所としても利用されています。広さは、30名位までOKです。給湯室にはポットや急須、湯飲みなども常設し、自由に使うことができます。（ただし、茶葉やコーヒーなどは持参していただくことになります。）

グループ活動の場がなくてお困りの方は、是非ご連絡ください。お待ちしております。

茨城県女性団体連盟が北欧フィンランドで海外研修を実施します！

10月3日～9日の日程で、総勢26名の女性がフィンランドの首都ヘルシンキを訪問し、男女共同参画、教育、福祉、環境の4つをテーマに、現地の状況について学んできます。女性プラザ男女共同参画支援室からも相談員が参加します。（もちろん自費です。）

フィンランドは、大統領、首相は女性、議会の男女比もほぼ均衡している男女共同参画先進国です。教育は、OECD（経済協力開発機構）による生徒の学習到達度調査（PIISA）で何度も学力世界一となり、世界各地から注目を集めています。

次回の支援室日より、研修結果をお伝えしたいと思っています。お楽しみに！

支援室の平成21年度相談状況

平成21年度の相談件数は353件で、開設された平成17年度の133件に比べて大幅に増えております。

相談内容は、一般相談164件、チャレンジ相談142件、特別相談（法律相談・仕事と心）47件です。

一般相談の内容は、家族（離婚、夫婦、子供）、対人関係、学習・情報の順に多く、また引きこもりの相談などもあり複雑になっています。

支援室では、コーディネーター1名、相談員2名が共に考えるというスタンスで相談を受け付けております。相談した方が少しでも心が軽くなるように心がけておりますので、お気軽にご相談ください。

発行・お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課 女性プラザ男女共同参画支援室

〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41 TEL 029-233-3982 FAX 029-233-1330

URL <http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>